

7/26  
五社

# 前邸官 再稼働は民意無視 雨突き「安倍やめろ」コール

首都圏反原発連合（反原連）は25日夜、首相官邸前抗議行動を行い、民意を無視して原発の再稼働をすすめる安倍晋三政権に怒りの声をぶつけました。冷たい雨を突いて、800人（主催者発表）の参加者が「原発やめろ」「安倍はやめろ」とコールを響かせました。

「出張のたびに参加している」と話す大阪市の大学非常勤講師、中條健志さん（32）は「原子力は世界的に遅れたエネルギーだ。これを今から再び推進するというのはおかしい話だ」といいます。

東京都調布市の山本博子さん（68）は「原発は安全だといふごまかしはもう通じない。再稼働は市民の生活を考えない政治のあらわれだと思う。安保法の問題も沖繩の問題も根っこは一緒だと思う。市民の声を聞けないなら、安倍政権は退いてもらうほかない」と語りました。

三重県伊勢市の山本勉さん（61）は「安倍首相は、国民の命や意見よりも電力会社の利益ばかり考えて原発を進めている。こんなやり方は絶対に認められない。すべての原発をと話しました。」

初めて参加した仙台市の男性会社員（58）は「安倍首相は福島第1原発事故の現実を直視していない。再稼働を進めるなんて民意に逆行するもので、輸出なんて言語道断です」と話しました。



原発を廃炉に、と訴える人たち＝25日夜、首相官邸前